

第208回教育研究評議会議事要旨

日 時	平成29年7月12日(水)	14:20~15:07
場 所	大会議室	
出 席 者	学長, 梅野評議員, 大庭評議員, 直原評議員, 林評議員, 小埜評議員, 中山評議員, 河合評議員, 山縣評議員, 中川評議員, 平野評議員, 越評議員, 廣瀬評議員, 松沢評議員, 石野評議員, 小杉評議員, 鈴木評議員	
出 張 者	加藤評議員	
オブザーバー	加藤監事, 森山監事	

議事に先立ち、学長から、前々回の議事要旨の確認が行われ、内容を確定した。

議 題

1 上越教育大学若手教員のための在外研究支援要項の一部改正

学長及び小埜副学長から、このことについて提案説明があり、軽微な字句等の修正を学長に一任することを含め、原案どおり承認された。

2 学校教育学部の平成31年度以降のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシー

学長、林カリキュラム企画運営会議議長及び直原入学試験委員会委員長から、このことについて提案説明があり、軽微な字句等の修正を学長に一任することを含め、原案どおり承認された。

なお、このことに関連し、「21世紀を生き抜くための能力+ α 」の定義について、今後、内容の一部見直しを検討することとされた。

報 告

1 第55回経営協議会

学長から、このことについて報告があった。

2 学校現場に必要とされる教員や新しい大学院に関する意識調査の実施

小埜副学長から、このことについて報告があり、学長から、調査内容について、後日、本会議構成員にお知らせする旨の説明があった。

以 上